

自治区08

岡田利規 ワークショップ 「日本語の心」



©Kikuko Usuyama

自治区08では、演劇作家・小説家・チェルフィッチュ主宰の岡田利規さんによるワークショップを開催します。参加者は岡田さんと、まず「言葉通りに捉えただけでは通じない、でも今日の文脈で含意をくみ取ることができる日本語」について考えます。こうした「言葉が真に受けられること」ができていない今日の日本語の抱える事情を「日本語の心」とし、演劇・朗読のワークショップを通じて、その「日本語の心」についてじっくり考え、想像します。

参加者募集は閉め切りましたが、当日のご取材にご協力をいただけますと幸いです。

岡田利規 プロフィール

1973年横浜生まれ、熊本在住。演劇作家 / 小説家 / チェルフィッチュ主宰。

活動は従来の演劇の概念を覆すとみなされ国内外で注目される。2005年『三月の5日間』で第49回岸田國士戯曲賞を受賞。07年デビュー小説集『わたしたちに許された特別な時間の終わり』を新潮社より発表し、翌年第2回大江健三郎賞受賞。12年より、岸田國士戯曲賞の審査員を務める。13年には初の演劇論集『遊行 変形していくための演劇論』、14年には戯曲集『現在地』を河出書房新社より刊行。近年、作品展示にも活動の幅を広げ、「映像演劇」という新たな手法による作品制作に取り組んでいる。

「自治区」について

今年度、金沢21世紀美術館が立ち上げた自主自由自立自律自治をコンセプトにした活動区の総称。美術に限らず科学、歴史、社会学など、学際的に他の領域を横断しつつ、年間を通してライブ、映像上映、トーク・シリーズ、滞在制作、身体表現など多様なプログラムを継続的に実施。「自治」をキーワードに、外部コミュニティとの連携・協働を通じて、これまでの美術の領域を超えるべく実験的なアクティビティを展開するものです。公式サイト <http://jichiku.com>

イベント名	自治区08 岡田利規 ワークショップ「日本語の心」
期間	2018年2月4日(日) 開演13:00 終了18:00(予定)
会場	金沢21世紀美術館 会議室1
料金	無料
定員	8名(受付を終了しました)
主催	金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]
お問合せ	金沢21世紀美術館 学芸課 TEL 076-220-2801

取材申込み／問合せ先

金沢21世紀美術館 広報担当:落合、川守(広報室) 事業担当:立花(学芸課)
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp
※ご取材の際には、事前にご連絡をお願いします。

